

平成 26 年度第 4 回運営幹事会 分科会活動実施報告（7 月 29 日以降）

◇大水深掘削技術分科会（座長：日本海洋掘削株式会社 前田啓彰）

1) 分科会開催実績

- 第 19 回会合開催@16:00、12 月 10 日 於：JDC 会議室、56 名出席。
- プレゼンテーション（MQJ 船橋、JMU 根本、JDC 古城、JDC 今長谷、JDC 前田）
浮遊式海洋掘削リグにおける掘削手順や特有の機器について、非掘削技術者、若手技術者を対象に解説を実施した。
 - 海洋掘削リグの種類 JDC 前田
 - ドリルシップとセミサブの違い JMU 根本様
 - 定点保持技術 係留と DPS JMU 根本様
 - 海洋での掘削手順 JDC 古城
 - Riser Tensioner JDC 今長谷
 - CMC, AHC MQJ 船橋
 - Dual Activity(derrick) JDC 前田

2) その他活動実績

技術動向の情報収集。

3) 今後の予定

開催時期は未定だが、テーマは下記を予定している。

1. 海洋掘削リグの構造
 - ☆ 浮遊式リグの海底 BOP とその制御システム、マリンライザー、キル・チョークライン、ブースターライン、ダイバーターの構造と機能
2. 大水深トピックス：デュアルグラジエント掘削
 - ☆ 水深が深いほど、浅層部の PP-FG ウィンドウが狭く、ライザー掘削だと軟弱な地層が泥水柱圧力を保持できないため、ライザーレスとするが、泥水を循環させたい場合、Riserless Mud Return System(RMR)を使って別の泥水リターンラインを確保する。
 - ☆ MUX BOP 制御システム
 - ☆ ライザー緊急離脱システム(EDS: Emergency Disconnect System)